

開成南小学校 学校だより

みなみの風



平成
31年
1月

寒さに負けず猪突猛進 今年も元気よくスタートです！ 2019(平成31)年
正月 亥年



“転機を迎える年”とも言われる2019年が始まりました。「亥年」です。今年も開成南小学校をよろしくお願いいたします。

新年になってからは「冬日」(一日の最低気温が「0度を下回る」日。最高気温も0度を下回る日は「真冬日」。)が続き、「今朝、水たまりに氷が張っていたよ!」と、なぜか(?)楽しそうに教えてくれる子もいました。

心機一転の一月、新鮮な気持ちで給食の七草を味わったり、グラウンドで元気よく風揚げに興じたりする姿もありました。

今年も、ステキな年になりますように！



いのしし
“亥”って？

○夜行性で本当は臆病者…

・警戒心が強く、神経質な動物で、見慣れないものは避けようとする習性がある。

○猪突猛進+曲がれる！？

・突進力があるが、急停止も方向転換も、実はできる。

○「のたうちまわる」の語源

・イノシシが沼地や田んぼで、草や泥の上を転がって、体になすりつける習性の姿より。



心静かに 新春の思いを 紙にしたためました

1月9日(水) ほか

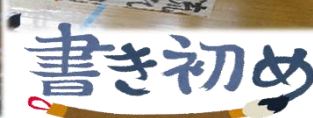
冬日が続く寒さやインフルエンザの流行を心配しつつ、今年も校内書き初め展を行っています。1・2年生は硬筆、3年生以上は毛筆で条幅紙に、一画、一文字ずつに新春の思いを込めて、作品に仕上げました。

特に3年生以上が会場として使用する体育館の環境が気になりましたが、寒さで震えたり手がかじかんでしまったりすることなどなく、存外スムーズにかつ集中して実践しました。ちょっと乾いた厳かな雰囲気の中、差し込む日光のぬくもりを感じたり、流れている「春の海」の箏や尺八の音色や息吹などを味わったりしながら、誰もが真剣に取り組み、書を記したり友達の作品を鑑賞したりしていた姿が印象的です。

各学級からの優秀作品は職員室前に掲示してありますが、各教室前等に1/25(金)まで(今年は期間を少し延ばしました。)展示してありますので、何かの機会に学校へお越しの際は御覧いただければ幸いです。

地区のどんど焼きでも持ち帰った何枚かをくべて、書の腕の上達を願うよう指導しましたが、寒のピークであり、インフルエンザの流行が心配される今の時期を、健康な体で乗り切っていきましょう。

無病息災、健康第一、延年益寿、精明強幹。清々しい心のままで！





1、2月は月別火災発生件数がピークです



1月18日(金)
火災避難訓練

開成町を管轄する小田原市消防本部のHPを見てみると、昨年度中に火災の発生件数が一番多かった月は「2月(14件)」、次いで「1月(12件)」と、空気が乾燥する今が、火災用心のピークでした。

今年も空気が依然乾燥し、痛ましい報道も、時折目にしてしまいます。

開成南小学校でも1/18(金)に、児童には抜き打ちで火災避難訓練を行いました。事前に「人員確認終了がキーポイント!」と指導し、一刻も早く開成南小学校全員の状況把握ができるよう協力を求めました。



残念ながら学校での火災発生の可能性は、決してゼロにはなりません。

今回の訓練でも学びましたが、万が一の場合を想定でき、常に冷静で適切な行動をとれるようになりたいですね。自分がやること、やるべきことをしっかり理解できるようになりましょう。

「忘れてない？」

7月に火に

火の確認

今年度の総務省消防庁の
全国統一防火標語です。

春の火災予防運動は3月
ですが、運動期間外でも火
災の予防を意識しましよ
う。

119番



今シーズンも心配ですね インフルエンザ対策をしましょう!

冬休み明けから、ちらほらとインフルエンザ罹患による欠席者が続いています。爆発的流行にまでは現在に至っていませんが、注意は必要です。インフルエンザは通常の風邪に比べ、全身症状が強く出やすい特徴があります。

感染後の潜伏期間があり、数日間は発症する可能性があります。罹患及び疑われる場合は、当事者本人の手洗いやいわゆる「咳エチケット」などが感染の拡大を防ぐ有効な手立てとなります。感染者との接触が思い当たる人や発症した人がマスクをつけることも、全体的な蔓延予防対策になります。咳やくしゃみをする時はティッシュやハンカチ、マスクなどを口と鼻にあて、他の人に直接飛沫がかからないようにしましょう。無い時は上着の内側や袖で覆っても構いません。何もしないでしぶきを飛ばす(約2m四方へ拡散!)ことや手で覆う(=手に付いたウイルスなどを他へ触ることでよけいに広げてしまうおそれがあります!)ことは避けましょう。

“インフルエンザ”の種類



昨シーズンはいわゆる「B型」が大流行した印象があります。インフルエンザには主に、

- ・AH1 (いわゆる「Aソ連型」)
- ・AH3 (いわゆる「A香港型」)
- ・AH1 pdm09 (2009年に世界中で大流行)
- ・B

などの病原体による型があり、病状や経過(症状が出はじめてからの時間など)によって、対症療法を中心に、医師の判断による治療をしていきます。

潜伏期間は1~3日。症状として「38℃以上の発熱」「頭痛」「咳」「咽頭痛」「鼻水」「筋肉痛」「関節痛」「おう吐」「下痢」などが主なものです。また近年、療養中に、“飛び降り”“急に走り出す”などの異常行動報告が見られる場合があることにも留意が必要でしょう。

季節のたより

NPB(日本プロフェッショナル野球組織=日本プロ野球機構)では、原則“2月1日~11月30日”が選手契約期間になっています。

その関係から、ファン感謝デーなどの球団全体のイベントも11月末までに行い、12月と1月は、選手たちは契約期間外でオフになります。2月1日からは契約者全員がユニフォームを着用してのキャンプ開始になりますが、1月はキャンプに備えて「自主トレーニング」を私服で行う選手も多いようです。新人選手は所属球団が音頭を取って管理し、「合同自主トレーニング(?)」という名称で、本人承諾の下、実施しています。“キャンプの為の練習”の要素もあるかもしれませんが、「プロのいろは」を学びます。契約期間外なのでユニフォーム姿でのトレーニングや練習はできませんが、ファンとしては、高校野球甲子園大会などで活躍した雄姿を重ね、新たなユニフォームでのカッコいい姿を早く拝みたいものです。

各球団のキャンプは、2月1日から約1カ月の期間、寒い場所を避け、主に海外や九州・四国の南部、沖縄地方など温かくコンディションを整えやすい恵まれた環境で始まります。

毎年この時期になると、長期のキャンプ見学に行きたいとはずっと思っているのですが、職業柄(?)年度末の忙しい時期と重なり、いまだに実現していません。3月の休日になって、ドーム球場や関東地区でのオープン戦やイースタン教育リーグの開催や二軍戦開幕などを、今年も楽しみに待ちたいと思います。

「ストーブリーク」を終え、「球春」は、本当にもう間近になってきました。(担当)

